

紛争地から見える 9 条の価値

軍隊を持たないからこそ信頼されてきた日本

アベ政権は、日本の 7 割の人々が改憲を望んでいないにもかかわらず、2020 年までの改憲に固執し 2018 年改憲発議を急いでいます。

谷山博史さんは、アフガニスタンなど紛争現場に近いところで、その地域の人たちと一緒に問題解決に取り組んでこられました。

一問題解決には背景にある「問題の根本」を認識し把握しなければなりません。そのためには、対話が大切であり、軍隊を派遣しないことが信頼関係を築く土台となったと言われています。

紛争地からみると、9 条はどのようにみえるのでしょうか。12 年もの間、紛争地の人々と生活を共にして、憲法の精神を体現しながら活動をしてこられた谷山さんのお話を聞き、9 条の価値を考えてみませんか？ そして 9 条改憲の発議をさせないよう、力を合わせて声をあげていきましょう。是非、ご参加ください。



谷山博史さんプロフィール

日本国際ボランティアセンター代表理事。1986 年以降、同団体のスタッフとして、タイ、ラオス、カンボジア、アフガニスタンなどで活動。NGO・外務省定期協議会政策協議会のコーディネーターを務め、国際協力・人道支援活動についての政策提言を行っている。編著に『積極的平和主義』は、紛争地になにをもたらすか?!—NGO からの警鐘—(合同出版) など。

3 月 21 日 (水・春分の日)

広島平和記念資料館地下会議室 1

(広島市中区中島町 1-2)

14:00 ~ 総会行事

14:30 ~ 16:30 結成 25 周年記念集会

参加費：800 円 (障がい者、学生以下無料)

講演：谷山博史さん (NGO 非戦ネット) の呼びかけ人
NPO 法人日本国際ボランティアセンター代表理事)

2018 年
改憲発議をさせない!
安倍 9 条改憲 NO!
憲法を守る全国統一署名にご協力ください



内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名

2017年5月3日、安倍晋三首相は突然、「新たに憲法9条に自衛隊の存在を書きこむ」「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。この発言を受けて、改憲への動きが急速に強まっています。

戦後70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな力は憲法9条の存在と市民の粘り強い運動でした。いま、9条を変えたり、新たな文言を付け加えたりする必要は全くありません。私たちは、日本がふたたび海外で「戦争する国」になるのはゴメンです。

私たちは、安倍首相らによる憲法9条などの改悪に反対し、日本国憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を求めます。

請 願 事 項

- 1、憲法第9条を変えないでください。
- 2、憲法の平和・人権・民主主義が生かされる政治を実現してください。

氏 名	住 所

第一次集約 2017年12月20日 第二次集約 2018年4月25日 第三次集約 2018年5月末

呼びかけ団体 **安倍9条改憲NO! 全国市民アクション**

「署名送り先」

戦争させない・9条壊すな! ヒロシマ総がかり行動実行委員会

略称 ヒロシマ総がかり行動

730-0805 広島市中区十日市町 1-5-5 坪池ビル 2F 日本ジャーナリスト会議広島支部内

電話 082-231-3005

Email:hiro9@opal.plala.or.jp